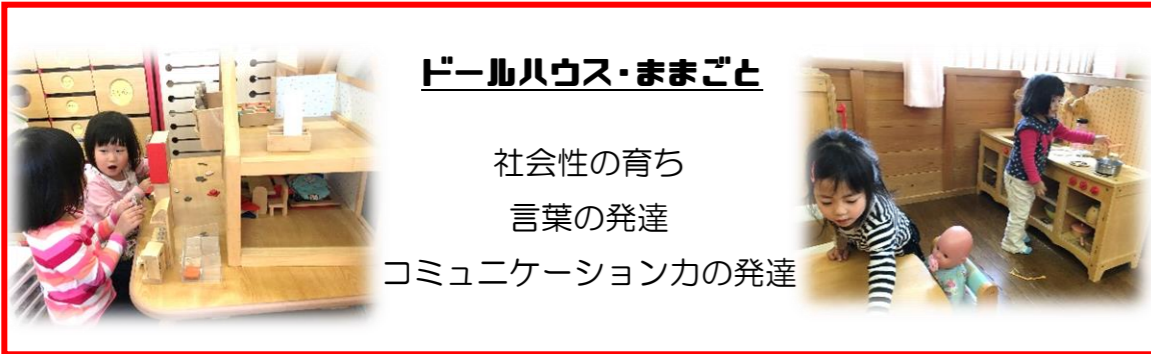


子どもは“遊び”の中でたくさんの気づきや発見をし、繰り返し遊ぶことで様々なことを学んでいきます。
幼児フロアでは、子どもたち一人ひとりの主体性を大切に、自ら進んで遊びに集中できるように、遊びの環境づくりに徹底して取り組んでいます。

ドールハウス・ままごと

社会性の育ち
言葉の発達
コミュニケーション力の発達



積み木

想像力や
考える力の発達
図形への興味



文字と数

数の概念
文字への興味
知覚の発達



ぬりえ

芸術的表現力の発達
鉛筆の持ち方の習得
色の概念



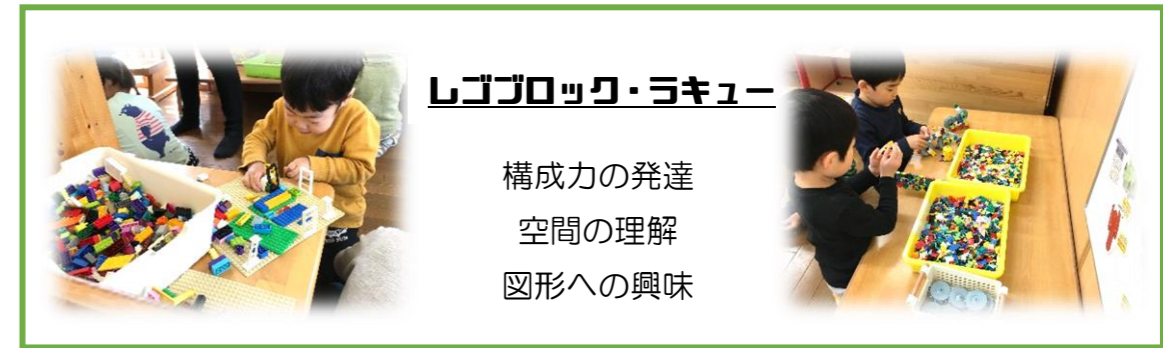
ねんど

指先の器用さや
表現力の発達



レゴブロック・ラキュー

構成力の発達
空間の理解
図形への興味



ゲーム

ルールを守る力の習得
考える力の発達
コミュニケーション力の発達
じゃんけんの習得



子どもの主体性

子どもたちは、自ら好きな
遊びを選んで集中して遊ぶ
ことができます！！

絵本

文字への興味
想像力の発達



保育者の主体性(遊ぶ前の準備)

- 例えば…
- ・毎日のコーナー整備・・・玩具の確認(破損していないか、数は足りているか等)
玩具を元の場所に戻しておく。(いつも同じ場所に同じ玩具がある安心感)
 - ・定期的なコーナーの見直し・・・現在の子どもの育ちに合っているか、集中して遊んでいるか等を見直し、
玩具を入れ替える。
 - ・セレクトボードの準備・・・各玩具に適した遊びの人数や対象クラスを検討し、調整する。

「セレクトボード」の役割

遊びには、それぞれ集中して遊ぶための適切な人数があります。
そこで！セレクトボードの登場です。遊びの人数を限定し、集中して遊べる環境を保障します。
さらに遊びの写真を貼ることで、字が読めない年齢の子どもたちへの視覚支援にも繋がります。



粘土は丸めておくことで
やわらかい状態を保てます

積み木は、翌日も続きから
遊べるように残しておきます

